

27

TAKE FREE

hospitalityC&urt

メディカルコート八戸西病院広報誌「ホスピタリティコート」

特集： 地域医療フォーラム

市民みんなが輝く 新しい八戸をつくる

八戸市長 熊谷 雄一さん

社長の健康メッセージ

桜総業株式会社 代表取締役社長 福士 信雄さん



市民みんなが輝く 新しい八戸をつくる

2021年11月、新しい八戸市長に熊谷雄一さんが就任しました。熊谷さんは、市民と対話をしながら「元気な八戸」をつくることを目指しています。デジタル化の進展など時代の流れが目まぐるしく変わっていく中、全ての市民が生き生きと暮らしていくためのまちづくりについて、公益財団法人シルバーリハビリテーション協会の田中理事長が、熊谷さんに伺いました。

八戸市長 熊谷 雄一さん

1962年八戸市出身。日本大学法学部政治経済学科卒。2001年～03年八戸市議会議員、同年～21年まで青森県議会議員を5期務めた。同年11月、八戸市長就任。



公益財団法人
シルバーリハビリテーション協会
理事長 / 医師 田中 由紀子



田中 熊谷さんは、これからのまちづくりに当たり「対話と共感」を掲げています。

熊谷 現在、コロナ禍、デジタル化、環境問題への対応など、大きな変化が求められています。それらの課題に対応することで、長年築いてきた八戸の素晴らしい伝統や文化、芸術、地域のコミュニティなどをしっかりと守ることができそうですし、市民生活の質の向上にもつながります。

そのために必要なことが「対話と共感」です。市民の皆さんの理解を得るため、積極的に対話をする機会をつくり、相互理解を深め、できれば共感を得ながら、「元気な八戸」に向かって一緒に歩んで行きたいと考えています。

田中 今後、健康増進や子育てなど、市民のためのアプリの開発を進めるそうですね。とてもユニークな取り組みだと感じました。

熊谷 アプリについては、現在さまざまな案を検討しているところです。例えば、ウォーキングなどの運動をするとポイントが付いて、それを地域の特産品と交換できるような仕組みにするのもいいかもしれません。

田中 もし実現すれば、ポイントをためることを楽しみながら健康づくりができますね。「ちょっと歩いてみようかな」と、一歩踏み出すきっかけにもなると思います。

今、八戸では地元のプロスポーツチームが活躍しています。スポーツを通じた取り組みも考えているのでしょうか。

熊谷 私自身、地元チームの試合を見に行

った時に非常にわくわくしましたし、観客の皆さんも熱気を帯びていて、スポーツの人氣はやはり根強いと感じました。スポーツには、人間を成長させる力があります。それを活用した人材育成や、地域活性化策も前向きに考えていきたいです。

ちなみに私は長年、毎朝4時半前に起床してラジオ体操や筋トレをしていますし、可能な限り車に頼らず、歩くようにしています。

田中 日常的に健康づくりに取り組んでいるんですね。日本では、これから今まで以上に高齢化が進んでいきます。医療・介護についてはどのような展望をお持ちでしょうか。

考えていきたいですね。

そして、住み慣れた地域で安心して在宅医療が受けられるようにすることや、市民病院の緩和ケア病棟の活用など、命に優しい取り組みにも力を入れていくつもりです。

田中 これからも連携しながら健康づくりに取り組み、八戸を元気な街にしていきたいですね。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

さまざまな人たちが連携しながら一緒になって取り組んでいくためのコミュニティづくりが必要だと考えています。そこにデジタルシステムを導入することで効率化が図られ、支え合いがどんどん充実していくでしょう。

また、子どもの未来は社会の未来であると考え、「子どもファースト」事業を展開します。まずは、子ども医療費助成の対象を拡充しました。今後は教育内容の充実なども進めていくつもりです。

田中 市民一人一人が地域とつながり、支え合うことが、これからのまちづくりの鍵にな

りますね。

介護予防への取り組みも、より一層重要になると考えています。2020年にオープンした八戸市介護予防センターでは、高齢者の皆さんに、当協会の理学療法士が体操指導などを通して健康づくりのお手伝いをしています。

熊谷 コロナ禍で出掛ける機会が減ってしまったことで、身体機能や認知機能が低下してしまふ、高齢者の「フレイル（虚弱）」が気掛かりです。今後もアドバイスをいただきながら、センターを活用してできる対策を



運動と食生活を意識し 生き生きと過ごす

社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.27

桜総業株式会社

代表取締役社長 **福士 信雄** さん

profile: 1955年八戸市出身。八戸工業大学第一高、同大学工学部電気工学科卒業。86年桜総業入社。2013年から現職。

冷めない物作りへの情熱

八戸市で生まれ育ち、八戸工業大学卒業後の1977年3月、五戸町にあった青森ビグストーンに入社しました。しかし、およそ10年後に倒産。尊敬していた同社の元上司と再び一緒に働きたいと思い、桜総業に入りました。八戸にある青森工場で長年勤務し、9年前に社長に就任。現在は横浜市の本社で勤務しながら、月に2回程度八戸にきています。

子どもの頃から竹とんぼ、スキー、ソリなど、さまざまな物を自分で作って遊ぶのが好きでした。当時から物作りへの情熱は冷めることなく、大学卒業後も一貫して製造現場に立ち続けてきました。仕事をする上での座右の銘は、宮本武蔵の言葉で「我、事において後悔せず」。よく考え、一度決めたら後悔しないのが、自分のモットーです。

心身が弱かったため、克服するために高校時代は柔道、大学では空手に打ち込む日々を送りました。しかし30歳になる直前、甲状腺の病気で3カ月半入院し、手術をすることに。それをきっかけに健康意識がだいぶ変わりました。スポーツジム通いを日課にするようになり、今で

き、約100万歩をクリアした人には金一封が出る仕組みです。青森工場からも毎年多くの従業員が参加し、楽しく体を動かしています。

現在、私も当社の会長も、青森工場の従業員の喫煙率が高いことが気になっています。青森県は「短命県」と言われていますが、塩分摂取量が多い食習慣や、喫煙もその一因。せめて勤務時間内の喫煙は止めてほしいと考えています。健康を害するだけではなく、勤務時間のロスにもなるからです。私自身も以前は喫煙者でしたが、社長就任後のある日、酒席でたばこを吸っていたところひどい頭痛に襲われたことが引き金になり、その後は一本も吸っていません。

会社の成長が地元の元気に

当社は国内に4拠点、海外に2拠点の生産工場があります。主な事業内容は、電子機器の神経とも言えるワイヤーハーネスの加工、基板実装組立加工のほか、発光ダイオード（LED）蛍光灯をはじめとする照明器具の製造などです。八戸の地で生産された照明器具が、現在東京・銀座の有名な商業施設の照明に採用されています。



上)クラス100,000のクリーンルームで精度の高いエンコーダ実装、組立作業をする従業員。クラス10,000のルームでは、半導体製品であるワイヤボンダの作業も手掛けている。

下)お昼時になると従業員が集まる食堂。明るくきれいな空間で食事やリフレッシュができる環境づくりを心掛けている。

も1回1時間くらい、筋力トレーニングをしています。目標は、ベンチプレスで60キロを持ち上げられるようになること。現在は45キロまで上げられます。不定期ですが、1時間〜1時間半程度、歩数にすると7500歩〜1万歩程度のウォーキングもしています。

趣味は温泉旅行と食べ歩き。でも普段の食生活は健康に気遣い、夕食ではほぼ毎日、山盛りの野菜を食べています。横浜に10年近く住んでいて感じることは、やはり八戸の魚介類は安くて鮮度が良く、おいしいことですね。お酒も大好き。週に2回の休肝日を設けてはいるものの、お付き合いもあるので休めていないこともしばしばです。

楽しく体を動かし金一封

社員の健康と安全が大切だと考え、当社では35歳以上の従業員には全員人間ドックを受けさせていますし、健康診断の再検査も必ず受診するよう、一人一人をフォローしています。年に1回ストレスチェックを行うのはもちろん、心身にリフレッシュできるよう、毎週水曜日は「一残業デー」です。

当社が所属する神奈川県電子電気機器健康保険組合には「ヘルシーウォーキング大会」という取り組みがあります。毎年9月〜11月の3カ月間、1日1万歩

青森工場の従業員は約160人で、7割近くが女性です。個人的には、女性は決められた作業を飽きることなく同じくオリティーで継続できる、高い集中力を持っていると感じています。

当社がさらに成長していくために、今後は大手メーカーの委託加工を主とする体制から脱却し、安心・安全の純国産の自社ブランド製品をどんどん売り出していきたいです。そのようにして会社が発展していくことで、地元八戸がもっと元気になると考えています。

data

桜総業株式会社

住所：八戸市北インター工業団地2-3-25
設立：1961年1月



国内生産工場4拠点、海外2拠点で合計570名の従業員が所属。安心安全の純国産を目指し、主力製品のワイヤーハーネス加工及び基板実装組立加工、照明器具等の製造を行っている。近年、除菌機の開発・製造・販売も開始。



当院には、さまざまな経歴や資格をもつ職員が在籍しています。その個性を生かした活躍ぶりやリアルエピソードをご紹介します。

人にライフあり、ワークあり、歴史あり。

理学療法士として地域包括ケアシステム構築に貢献したい

当院入職後、理学療法士として経験を重ねつつ、さまざまな学会や研修会に参加し研鑽してきました。現在は当院理学療法科主任として若いスタッフから力をもらいながら楽しく業務を遂行しています。

一方、院外では青森県理学療法士会の理事を務め、職能団体の一人としても活動しています。以前、学会に参加したとき地域包括ケアシステム構築の話聞き、超高齢社会に突入した今のままでは未来が大変なことになるという危機感から、理学療法士として何かできないか?と考えるようになりました。若い世代の理学療法士に伝えたい思いがあります。地域には元気な高齢者がたくさんいて、その人たちが理学療法士による介護予防の施策を必要としていること、さらに病

院の外にも目を向けられる人材がもっと必要だということです。

座右の銘は「継続は力なり」です。微力ながら、現在多職種を巻き込み行政と連携した人材育成など各種事業に地道に取り組んでいます。今後、後進の理学療法士の活躍で、いつか地域全体が安心できる社会になるように研鑽と啓発を推進していきたいと考えています。

略歴

- 2006年 岩手リハビリテーション学院卒
シルバー病院 理学療法科入職
- 2011年 八戸西病院 在宅リハビリテーション支援科
- 2013年 介護老人保健施設はくじゅ リハビリテーション科
- 2015年 青森県理学療法士会 理事就任
- 2017年 青森県理学療法士会 副会長就任



リハビリテーション部 理学療法科 主任
Yu Onodera
小野寺遊

※上記取材内容は2022年1月時点のものです。

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



感染症対策の車椅子を導入しました



座り心地も良く、患者さまそれぞれに合うよう座面の高さや足置き位置なども調整できるタイプの車椅子です。

リハビリテーション部では、高さ・幅の調節機能付きで、身体能力ごとの種類別に車椅子を約100台常備し、入院中の患者さま用として貸し出しています。これまでの布製座面タイプのものに加え、座面や背もたれなどに触れる部分を除菌シートで拭けるタイプの車椅子を導入しました。今回は20台の導入ですが、感染対策に優れ、座り心地も好評のため台数を増やしていく予定です。これからも患者さまが安心してリハビリに取り組んでいただける環境整備と感染対策を強化していきます。



正面入口待合にテーブルセットを設置しました



外の様子がみえるように椅子やテーブルを設置。対面箇所にはクリアボードで飛沫対策もしています。

外来受診後の患者さまが、タクシーやご家族の迎えを確認しやすい待合スペースとして、正面入口横の空間をアレンジしました。南向きのガラス窓は日中は日当たりも良く、タクシーなど送迎の車が見やすい場所です。

受診後、会計までは外来病棟の待合に居て、時間を見計らって正面入口横のスペース移動するという患者さまが増えてきました。椅子だけではなくテーブルを設置することで、書類記入や上着の着脱などでご利用になるほか、受付前の混雑回避にも貢献しています。



ご自宅でしか見られない
その人らしい姿に会える。

#04

訪問看護師

Visiting Nurse

訪問看護師の仕事は「その人らしい生活」を送るために、ご本人やご家族を支えることだと思います。大変なことも多く、問題や課題に直面することもあります。病院では見られない表情やご家族との絆、利用者さんからの言葉が、仕事へのやりがいにつながっています。

ケアポートみさわ
訪問看護師：下田 公美
北海道立紋別高等看護学院卒業
看護師
医療的ケア児コーディネーター



SGグループが運営する
ケアポートみさわに勤務



24時間対応で地域に密着したサービスを提供する訪問看護ステーション。

08:10 出勤・準備

08:30 午前業務スタート

1週間の訪問予定ボードを確認し、その日の訪問に出かけます。精神科・小児・終末期など様々な利用者さんがいらっしゃいますが、笑顔で安心できるような雰囲気をつめています。

12:00 昼食休憩

談笑もありますが、午前中の訪問の報告やケースカンファレンスをするなど時間を有効に使いながら、コミュニケーションの時間となっています。

13:00 午後業務スタート

主に小児の訪問が多く、医療ケア児についてのカンファレンスや行政とのオンライン会議に参加する時も。訪問終了後は、スタッフ間で申し送りをし、情報共有を行います。

17:30 業務終了



Note 看護師と理学療法士が連携しながら看護ケアを提供しています。

プリセプター制度をはじめ、ケースカンファレンス、勉強会、スキルアップ研修会を積極的に開催し、新人サポートを充実させています。スタッフ間の連絡体系も緊密で、安心して業務に取り組みます。



もっと開こう、
地域へ。

OPEN
HOSPITAL

オープンホスピタル

統合実習

八戸看護専門学校

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。

夜間実習も取り入れた
臨床実践に近い統合実習

10月11日から12日間、八戸看護専門学校3年生による、統合実習が当院で行われました。この実習は、より臨床実践に近い形で、卒業後のスムーズな現場への適応を目標にしています。

管理実習では、師長や主任業務といった病棟管理のほか、看護部管理の役割についての講義も取り入れ、医療安全や感染対策管理、救急外来の役割、地域医療連携などについて学びます。

学内や普段の実習では体験できない現場の声を、学生たちは真剣なまなざしで聞き入っていました。

統合実習の中で印象に残っている事を尋ねると、ほとんどの学生が夜間実習と答えます。これまでの実習では日中の病棟の状況でしか体験できなかっため、夜間実習に特に興味があり、それと同時に24時間継続していく看護の大切さを学ぶ機会となりました。

当院での実習の学びが、学生達の今後の糧になるよう、これからもより良い実習環境を整えていきたいと思っています。



統合実習ではケアワーカーやクラーク業務を学ぶ時間もあります。看護師以外のさまざまな職種とのチーム医療の現場を体験します。



病棟でのチームミーティングの場面。継続した看護を提供するため、日々の情報共有の大切さを学んでいます。



食事の時間も大切な看護のひとつ。患者さまの状態に注意しながら、今何をすべきか考え、丁寧に声がけをしています。



実践実習のほかに、病院組織や看護部の役割を学ぶ、統合実習ならではの座学の時間です。

i Information

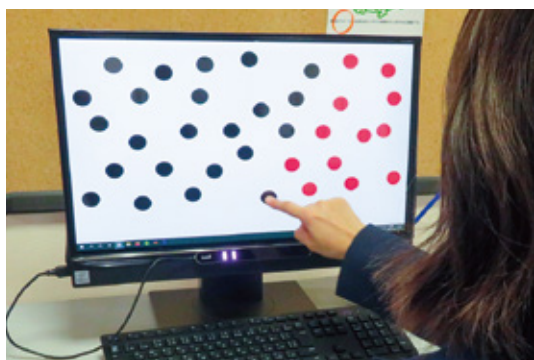
ハートフルイルミネーションを SGプラザにて点灯中

八戸市長苗代にあるSGプラザで、ハートフルイルミネーションを点灯中です。期間は2月20日(日)まで、点灯時間は16:30～21:00です。コロナ禍の中、病院、健診の関係者様や地域の皆様への感謝と、温かく明るい気持ちになっていただければとの思いで点灯しています。お近くにいらした際には是非ご覧ください。



注意力改善のための評価ツール @attentionを導入しました

八戸西病院では、高次脳機能障害の注意力改善リハビリテーションツール@attention(アテンション)を導入しました。パソコンのタッチパネルを患者さまが操作し、反応時間を分析したり、視線を可視化し画面上に表します。障害レベルの評価と改善にむけた効果的な訓練が行えます。お問い合わせはリハビリテーション科まで。



陸上自衛隊より幕僚長感謝状を 受彰しました

八戸西健診プラザでは、長年の婦人科健診の受け入れや、陸上自衛隊医務室への協力が評価され、陸上自衛隊幕僚長感謝状を受彰しました。この受彰を励みに、今後もピンクリボン運動や巡回健診による婦人科健診、女性の健康管理をはじめ、地域の皆さまの健康サポートに尽力してまいります。



特定保健指導受診者へ セラバンドを配布しています

八戸西健診プラザでは、3月末まで手軽にエクササイズができるセラバンドを無料配布しています。当院で監修したセラバンド体操がインターネットで閲覧できます。右記のQRコードを読み込み、ぜひチャレンジしてみてください。詳しいお問い合わせは、八戸西健診プラザまで。



地域の農家さんが
地域の土と空気と水で育てた食材で
おいしくいただいて健康になる
しあわせ地産スイーツ。

しあわせ
Chisan
Sweets

五戸町産りんごを使って

りんごのチーズタルト

Apple Cheese Tart Cake

りんごには、むくみの原因となる体にたまった水分や余計な塩分を排出するカリウム、腸内の善玉菌を増やし腸内環境を整える食物繊維、抗酸化作用があり活性酸素を除去し血流を改善するりんごポリフェノールなどの栄養素が豊富に含まれています。

【作り方】

- ①〈コンポート〉砂糖、水を鍋に入れ、沸騰したらカットしたりんごを入れ、水気がなくなるまで煮詰め冷ましておく。
- ②〈チーズケーキ〉常温で柔らかくしたクリームチーズに砂糖をすり混ぜ、生クリーム、卵、薄力粉、レモン汁の順に混ぜ、タルト台に①を並べ生地を流しこむ。
- ③190℃のオーブンで50分焼き、火が通ったら粗熱を取り冷蔵庫で冷やす。
- ④〈りんごの薔薇〉軸、芯を取り除き、横にスライスし、電子レンジで約2分加熱。半分重なるように8枚並べて巻き、薔薇の形にととのえる。
- ⑤冷やしたチーズタルトに④の薔薇を飾り付ける。

【材料】20cm タルト型 1台分

〈タルト台〉	市販20cm	1個
〈コンポート〉	りんご	1個
	砂糖	25g
	水	250ml
〈チーズケーキ〉	クリームチーズ	100g
	砂糖	30g
	生クリーム	100g
	卵	1.5個
	薄力粉	27g
	レモン汁	小さじ1
〈薔薇〉	りんご	2個(紅玉・王林など)



管理栄養士
古館 幸恵
介護老人保健施設 しんごう



公式Instagramで
ご覧いただけます

Event イベントスケジュール

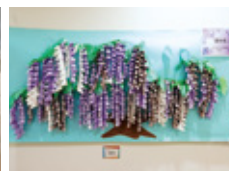
1月15日(土)～2月3日(木)	終日	西病院書き初め書道展	1Fアートストリート	自由観覧
2月6日(日)～2月26日(土)	終日	コンタックスクラブ写真展	1Fアートストリート	自由観覧
3月1日(火)～3月27日(日)	終日	当院リハビリテーション部による作品展	1Fアートストリート	自由観覧

当院1F交流ホールイベントについて

- ・予約制イベントのお問い合わせ・ご予約は、☎0178-28-4000へ。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ステージパフォーマンスを自粛しています。

アートストリートで展示イベント開催中

当院1F薬局前通路を「アートストリート」と名付け、写真や絵画等の展示イベントを開催しています。どなたでも無料でお楽しみいただける内容となっていますので、ご来院の際はご観覧ください。また、手指消毒と検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。



八戸西健診プラザと広報誌新企画「しあわせ Chisan Sweets」の公式Instagramを開設しました

八戸西健診プラザでは、トピックスやスタッフの仕事ぶりの紹介を、「しあわせ ChisanSweets」では広報誌との連動内容など、皆さまのお役に立てる情報を発信しています。



八戸西健診プラザ
公式Instagram



しあわせ
Chisan Sweets
公式Instagram

Note 編集ノート

夜間を想定した 避難訓練を実施しました。

今年の避難訓練は、夜間に火災があった場合を想定した訓練を行いました。感染対策のため少人数での簡易訓練となりましたが、消火器を持って火災現場に向かったり、消火ホースを使用して消火のシミュレーションを行ったりと、簡易訓練ながら実際の動きに近いものを練習することができました。今後はもっと細かい部分まで追求し、実りある訓練となるよう工夫を重ねていきたいです。



避難訓練終了後の部分訓練では組み立て式担架の組み立て訓練を行い、非常時でも冷静に対応するための手順を再確認することができました。